■ 総合計画（後期基本計画）

施策評価調書

整理番号 6

政策名	Ⅰ	交流経済都市
施策名	⑤	観光の振興

所管部局	所管部局長の氏名
企画総務部	新井　清宏
市民部	木村　嘉充
商工観光部	吉岡　茂昭

1 関連する個別計画　PLAN

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市観光振興計画	本市の豊富な観光資源を活かした総合的・効果的な観光振興をより一層推進するため、京丹後市観光立市推進条例の趣旨に基づき、観光立市の実現に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための具体的な取組として、策定	平成21年6月	平成21年度～ 平成23年度	第2期の観光振興計画（平成24～26年度）を策定（平成24年3月）

2 施策目的（何を対象にどのような状態にしたいのか・どのような状態に持っていきたいのか）

No.	施策目的	関連する施策方針	
1	自然、文化、産業など地域の豊富な観光資源をより一層有効に活用し、観光を始め各分野の事業者や市民の皆さんとともに「住んでよし、訪れてよし」の観光地づくりを行う。	1	「極上のふるさと観光づくり」の実現
		2	地域資源の保全と活用
		3	歴史文化の保全と活用
		6	健康志向に対応した観光の推進
2	ジオパーク活動を盛り上げるとともに体験型観光やジオツアーを推進し、世界認定「山陰海岸ジオパーク～京丹後市～」を市内外に発信する。	1	「極上のふるさと観光づくり」の実現
		4	観光資源のネットワーク
		7	環境先進地としてのエコツーリズムの推進
		8	情報発信の強化
3	観光協会等関連団体と連携し、教育・合宿旅行の誘致・インバウンド事業の推進・イベント等を実施し、観光誘客を図り宿泊客の増加と京丹後ファンの拡大を図る。	1	「極上のふるさと観光づくり」の実現
		5	四季型滞在観光の推進
		9	交流の機会作り
4	海浜施設等観光地としての整備を進めるとともに、観光施設の適切な管理運営を行い、快適な観光地づくりを行う。	1	「極上のふるさと観光づくり」の実現
		2	地域資源の保全と活用
		8	情報発信の強化
		9	交流の機会作り

3 目標値など

	めざす目標	指標名	総合計画作成時（H17）	年度	後期基本計画作成時（H20）	年度	H23年度実績値（現状）	年度	目標（H26）	年度
総合計画	観光立市の実現をめざします	年間観光入込客数	200万人	H16	182万人	H20	175万人	H23	250万人	H26
		年間宿泊客数	新規	―	46万人	H20	35万人	H23	70万人	H26
		年間外国人宿泊客数	新規	―	1,382人	H20	905人	H23	5,000人	H26

	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時	年度	H23年度実績値（現状）	年度	目標	年度
個別計画	京丹後市観光振興計画	年間観光入込客数		192万人	H19	175万人	H23	220万人	H23
		年間宿泊客数		46万人	H19	35万人	H23	60万人	H23
		年間外国人宿泊客数		564人	H19	905人	H23	2,500人	H23

4 評価結果一覧　DO　CHECK

施策方針	No.	事務事業 事業内容（実績）	担当課	予算額（単位：千円）H23決算額	H24予算額（一般財源）	事務事業評価結果 根拠法令	単独事業	財政負担	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	施策評価結果 施策目的	施策貢献度	今後の方向性
1 「極上のふるさと観光づくり」の実現	1	ｼﾞｵﾊﾟｰｸ推進事業 山陰海岸ｼﾞｵﾊﾟｰｸ推進のため、協議会への負担金交付、拠点施設等整備や普及啓発等を実施	観光振興課	7,315	10,718 (4,776)	なし	含む	府・一部	サービス	他	直・委・負	3	個性魅力	1,2	A	拡大
	2	あじわいの郷支援事業 丹後あじわいの郷の運営管理、ｲﾍﾞﾝﾄ開催支援	観光振興課	30,648	29,031 (29,031)	なし	含む	単費	サービス	法人	直・委・負	3	個性魅力	1	A	現状維持
	3	観光振興計画推進事業 「市観光立市推進会議」を開催(全体2回、部会3回)し、観光振興計画見直し案を検討	観光振興課	514	284 (284)	市規定	含む	単費	内部管理	―	―	―	―	1,2,3,4	A	現状維持
	4	観光振興一般経費 観光振興団体へ負担金を拠出、入湯税啓発表示板を作成	観光振興課	693	348 (348)	なし	含む	単費	サービス	市民	直・負	1	該当なし	1	A	現状維持
	5	指定管理施設大規模改修事業【明許繰越】 観光関連の指定管理施設における改修経費	観光振興課	4,226	– –	市規定	含む	単費	維持管理	他	直・委	3	個性魅力	4	A	終了・廃止
	6	指定管理施設大規模改修事業 観光関連の指定管理施設における改修経費	観光振興課	4,516	13,200 (9,968)	市規定	含む	単費	維持管理	他	直・委	3	個性魅力	4	A	現状維持
	7	観光等施設一般経費 観光等施設(全41施設)の維持管理	観光振興課	15,465	12,100 (10,458)	なし	含む	単費	維持管理	他	直・委	1	該当なし	4	A	現状維持
	8	観光協会等支援事業 市観光協会の諸活動を支援するため補助金を交付	観光振興課	30,122	29,083 (29,083)	市規定	含む	単費	サービス	団体	補	3	個性魅力	1,2,3	A	現状維持
	9	水難対策事業 全海水浴場(16か所)への連絡員設置、AEDの配備など環境を整備(17連絡所：計72人)	観光振興課	11,552	11,912 (11,912)	なし	含む	単費	サービス	他	直・委	2	特定サービス	4	A	現状維持
	10	観光の魅力づくり推進事業 温泉源の維持管理等、観光地づくりに有益な事業に対し補助金を交付(11事業)	観光振興課	18,793	6,601 (221)	市規定	含む	単費	サービス	団体	直・補	2	特定サービス	1,4	A	現状維持
2 地域資源の保全と活用	1	海浜等施設管理事業 海水浴場等の観光関連施設(便所、休憩所等)の維持管理、海岸漂着ｺﾞﾐの撤去	観光振興課	20,039	35,688 (13,501)	なし	含む	単費	維持管理	他	直・委	3	個性魅力	1,4	A	現状維持
	2	自然公園管理事業 山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園内の府公園施設維持管理	観光振興課	10,914	10,521 (1,751)	国規定	―	府・一部	維持管理	他	直・委	3	個性魅力	1,4	A	現状維持
3 歴史文化の保全と活用		他施策（歴史文化遺産の保全と活用）内の事業により実施														
4 観光資源のネットワーク		観光協会等支援事業やｼﾞｵﾊﾟｰｸ推進事業の中で、観光資源のﾈｯﾄﾜｰｸ化を図っている														
5 四季型滞在観光の推進	1	ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ推進事業 市観光協会と協働でブース出展とPR活動を実施(台湾高雄国際旅展)など	観光振興課	1,266	227 (227)	なし	含む	単費	サービス	法人	直	3	個性魅力	3	A	拡大
	2	ほんもの体験観光のまち推進事業 全国ほんもの体験ﾌｫｰﾗﾑ(米原市)へ参加	観光振興課	4	– –	市規定	含む	単費	サービス	法人	直・補	3	個性魅力	3	B	現状維持
	3	観光業等活性化推進事業補助金 交流人口拡大に寄与する大会に対し、宿泊人数に応じ補助金を交付(13大会、宿泊者4,523人)	観光振興課	1,900	2,000 (2,000)	市規定	含む	単費	サービス	団体	補	2	特定サービス	3	A	縮小
6 健康志向に対応した観光の推進	1	森の全国交流拠点管理運営事業 ツリーハウスの保守点検及び管理運営(利用者数479人)	企画政策課	329	320 (320)	なし	含む	単費	維持管理	他	直・委	3	個性魅力	1	A	現状維持
	2	森の全国交流拠点管理運営事業【明許繰越】 平成23年度事業の一部を繰り越しして実施する事業	企画政策課	–	2,162 (2,162)	平成23年度から平成24年度への繰越事業										
7 環境先進地としてのエコツーリズムの推進		ジオパーク推進事業でジオツアーを実施														

施策方針	事務事業 事業内容（実績）	担当課	予算額（単位：千円） H23決算額	H24予算額 （一般財源）	事務事業評価結果 根拠法令	単独事業	財政負担	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	施策評価結果 施策目的	施策貢献度	今後の方向性
8 情報発信の強化	1 観光宣伝活動事業 各種広報、イベント開催、広域団体との連携によるPR活動、加盟団体への負担金	観光振興課	9,337	9,722 (9,722)	なし	含む	単費	サービス	他	直・負	3	個性魅力	1	A	現状維持
	2 観光サイン整備管理事業 観光サインの維持管理、観光サインのあり方検討員会の開催による第2次観光サイン整備計画の策定	観光振興課	1,271	5,874 (824)	なし	含む	単費	維持管理	他	直・委	3	個性魅力	4	A	現状維持
	3 観光サイン整備管理事業【明許繰越】 平成23年度事業の一部を繰り越しして実施する事業	観光振興課	－	5,670 －	平成23年度から平成24年度への繰越事業										
9 交流の機会作り	1 丹後半島駅伝大会開催事業 府内市町村職員による駅伝大会の運営経費(参加チーム数：58チーム、市内宿泊者数561人)	丹後市民局	622	641 (223)	なし	含む	他	サービス	他	直	2	特定サービス	3	S	現状維持
	2 教育旅行等誘致促進事業 教育旅行誘致のため、学校・旅行社を訪問しPR強化。ノウハウ取得のためセミナー参加	観光振興課	114	104 (104)	なし	含む	単費	サービス	団体	直	2	特定サービス	3	A	現状維持
	3 地域活性化支援事業 地域活性化・観光振興に寄与するイベントに補助金を交付(飛天、いかり高原、ドラゴンカヌー)	観光振興課	9,422	10,480 (10,480)	なし	含む	単費	サービス	団体	補	3	個性魅力	3	A	現状維持
	4 指定管理施設運営事業 観光関連施設を指定管理者制度により管理運営(16施設)	観光振興課	101,632	96,326 (85,599)	市規定	含む	単費	維持管理	他	指	3	個性魅力	4	A	縮小
	5 丹後ウルトラマラソン開催事業 「歴史街道丹後100kmウルトラマラソン」の開催支援(エントリー数2,190人、延宿泊数3,527泊)	観光振興課	4,999	5,000 (5,000)	なし	含む	単費	サービス	団体	直・補	3	個性魅力	3	A	現状維持
		計	285,693	298,012 (227,994)											

5．今後の施策展開について **ACTION**

財源が減少していく中で、効率的・効果的に施策を推進するために、どのように施策展開を図っていくのか	No.	歳出抑制の考え方	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	指定管理施設運営事業において、指定管理委託料の縮小を図る。	

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業		
細事業名	06 ｼﾞｵﾊﾟｰｸ推進事業				決算書	P.248
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興		

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率
7,315千円	7,465千円	150千円	97.9 %

目的

世界認定を受けた山陰海岸ジオパークの保全及び活用を図り、ジオパークによる観光のまちづくりを推進する。

主要な事務・事業及び成果の概要

【京丹後市ジオパークネットワーク推進会】 79 千円
- ○京丹後市ジオパークネットワーク推進会委員謝金・費用弁償
  ・会議（5/25、12/19）

【ジオサイト・拠点施設等整備】 2,072 千円
- ○拠点施設修繕料 55 千円
- ○案内看板表示改修（3か所） 82 千円
- ○道路案内標識設置（3か所） 931 千円
- ○拠点施設表示看板設置（1か所） 420 千円
- ○拠点施設電気代負担金 95 千円
- ○ジオサイト清掃重機借上料 489 千円

【山陰海岸ジオパーク普及啓発等】 2,507 千円
- ○ジオトレッキング（4回：49人参加）講師謝金・費用弁償等 79 千円
- ○小学校理科体験授業「大地の学習」（24校）冊子印刷（1,000部）等 127 千円
- ○ジオパーク講演会（30人参加）講師謝金・費用弁償等 57 千円
- ○広告料（新日本海新聞、観光情報誌） 135 千円
- ○パンフレット（63,000部）、PRグッズ（缶バッチ9,000個）等作成費 1,512 千円
- ○のぼり旗（250枚）、パネル等作成費 546 千円
- ○会議参加旅費等 51 千円

【山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金】 2,657 千円

主な財源

府補	ｼﾞｵﾊﾟｰｸ推進事業補助金（1/2）	1,900千円
繰入金	観光ｲﾝﾌﾗ整備等促進実行調整基金繰入金	945千円

評価・課題等

○山陰海岸ジオパークを推進するため、3府県3市3町や各団体と連携するとともに、ガイド養成、普及啓発、教育活動等ジオパーク活動を推進した。
○平成26年度の世界ジオパークネットワーク再審査や平成27年度のアジア太平洋ジオパークネットワーク会議開催に向け、継続的・発展的な活動が必要である。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	08あじわいの郷支援事業		
細事業名	01 **あじわいの郷支援事業**				決算書	P.250
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興		

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
30,648千円	30,650千円	2千円	99.9 %

目的

丹後あじわいの郷が京丹後市の観光拠点として、市内各観光施設との連携を図りながら運営され、利用促進が図られるよう、運営及び各種イベントの開催に対して支援する。

主要な事務・事業及び成果の概要

【経常的経費】

- ○ 火災保険料（展望台・昆虫館・売店） 13 千円
- ○ 土地借上料（臨時駐車場等：弥栄町鳥取地内） 256 千円
- ○ あじわいの郷運営費負担金 29,000 千円

内訳	金額
財団運営人件費等負担分	4,600千円
施設維持管理負担分	2,800千円
あじわいの郷運営負担分	21,600千円

【王国タワー改修等調査に係る経費】

- ○ 調査設計委託料 1,260 千円

【昆虫館修繕に係る経費】

- ○ 昆虫館自動火災警報装置修繕 119 千円

（利用状況）

平成23年度入園者数：107,832人（平成22年度：110,967人）

主な財源

繰入金	観光ｲﾝﾌﾗ整備等促進実行調整費基金繰入金	1,260千円
諸収入	市有建物損害共済金	119千円

評価・課題等

○月例祭の開催やグルメ祭などの各種事業により、入園者数は昨年に引き続き10万人を超え、着実な事業成果があった一方で、経営を取り巻く環境は依然として厳しく、支援を継続する必要がある。
○王国タワーの利活用について、さらに検討する必要がある。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細事業名	04 **観光振興計画推進事業**		決算書	P.248
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率
514千円	515千円	1千円	99.8 %

目的

市観光立市推進条例に基づく京丹後市観光振興計画の見直しのため、「京丹後市観光立市推進会議」を開催し、計画見直し案についての検討を行う。

主要な事務・事業及び成果の概要

京丹後市観光立市推進会議

委員数	28人（うち大学教授1人）	
設置年月	平成21年5月	
任期	3年	
構成	観光関係団体及び各種団体の代表者、観光業者、有識者等	
報酬額（回）	一般委員4,000円、大学教授14,000円	
会議開催状況	全体会議 平成23年7月4日	出席：15人
	平成23年11月25日	出席：10人
	統括部会 平成23年9月13日	出席：4人
	平成23年10月7日	出席：4人
	平成23年11月14日	出席：4人

○ 京丹後市観光振興計画原稿作成謝礼　200千円

○ 委員報酬　198千円
　4千円×延べ32人＝128千円
　14千円×延べ5人＝70千円

○ 費用弁償　116千円

主な財源

評価・課題等

本会議による計画見直し案についての検討をふまえ、さらに協議検討を加えた第2次計画の取りまとめを行い、極上のふるさと観光づくりを目指す必要がある。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

<table>
<tr><td>予算科目</td><td>07商工費</td><td>01商工費</td><td>04観光振興費</td><td colspan="2">50観光振興一般経費</td></tr>
<tr><td>細事業名</td><td colspan="3">01 観光振興一般経費</td><td>決算書</td><td>P.250</td></tr>
<tr><td>総合計画</td><td>基本方針</td><td>Ⅰ 交流経済都市</td><td>計画項目</td><td colspan="2">⑤ 観光の振興</td></tr>
</table>

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
693千円	697千円	4千円	99.4 %

<table>
<tr><td>目的</td><td>各種加盟団体への負担金支出などにより観光振興を図る。</td></tr>
<tr><td>主要な事務・事業及び成果の概要</td><td>本市が加盟する観光振興団体へ負担金を支出したほか、入湯税啓発表示板を作成して温泉宿泊施設等に配架し、入湯税を活用した観光振興のまちづくりの周知に努めた。

○事務経費　266 千円
　普通旅費　191 千円
　事務用消耗品　43 千円
　有料道路通行料　28 千円
　駐車場利用料　4 千円

○入湯税啓発表示板作成経費【担当：財務部税務課】　252 千円
　100個作成　平成24年2月配付（95施設）

○各種協議会等負担金　175 千円
　歴史街道推進協議会負担金　100 千円
　国民保養温泉地協議会負担金　45 千円
　近畿道の駅連絡会会費　30 千円</td></tr>
<tr><td>主な財源</td><td>繰入金　観光ｲﾝﾌﾗ整備等促進実行調整基金繰入金　252千円</td></tr>
<tr><td>評価・課題等</td><td>○加盟する観光振興団体への負担金の拠出、会議出席などの経費を支出した。
○入湯税啓発表示板を作成し、温泉宿泊施設等に配架することで、入湯税を活用した観光振興のまちづくりの周知に努めた。</td></tr>
<tr><td>事業所管課</td><td>商工観光部／観光振興課、財務部／税務課</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>予算科目</td><td>07商工費</td><td>01商工費</td><td>05観光等施設費</td><td colspan="2">03観光等施設指定管理運営事業</td></tr>
<tr><td>細事業名</td><td colspan="3">02 指定管理施設大規模改修事業（繰越）</td><td>決算書</td><td>P.254</td></tr>
<tr><td>総合計画</td><td>基本方針</td><td>Ⅰ 交流経済都市</td><td>計画項目</td><td colspan="2">⑤ 観光の振興</td></tr>
</table>

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
4,226千円	4,450千円	224千円	94.9％

目的

施設利用の安全性と快適性の向上を図るため施設の適切な維持管理を行う。

主要な事務・事業及び成果の概要

平成23年1月の雪害により、網野山村体験交流センターの多目的広場屋外炊事棟及びセンター棟浴室前の塀が倒壊する被害を受けたため、改修工事を実施した。

○委託料　493千円
網野山村体験交流センター改修工事設計監理業務

○工事請負費　3,733千円
網野山村体験交流センター改修工事
（工事内容）　多目的広場屋外炊事棟改修（倒壊屋根の復旧）
センター棟浴室前塀改修（H=1.8m、L=9.4m）

主な財源

諸収入　市有建物損害共済金　3,733千円

評価・課題等

指定管理施設の雪害による改修を行い、従前の機能回復を図った。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

<table>
<tr><td>予算科目</td><td>07商工費</td><td>01商工費</td><td>05観光等施設費</td><td colspan="3">03観光等施設指定管理運営事業</td></tr>
<tr><td>細事業名</td><td colspan="4">02 指定管理施設大規模改修事業</td><td>決算書</td><td>P.254</td></tr>
<tr><td>総合計画</td><td>基本方針</td><td>Ⅰ 交流経済都市</td><td>計画項目</td><td colspan="3">⑤ 観光の振興</td></tr>
<tr><td colspan="2">決算額 ①</td><td colspan="2">最終予算額 ②</td><td colspan="2">不用額 (②−①)</td><td>執行率</td></tr>
<tr><td colspan="2">4,516千円</td><td colspan="2">4,517千円</td><td colspan="2">1千円</td><td>99.9 %</td></tr>
</table>

目的

施設利用の安全性と快適性の向上を図るため、施設の適切な維持管理を行う。

主要な事務・事業及び成果の概要

観光関連の指定管理施設について、施設利用者の安全性と快適性の向上を図るため、施設の適切な維持管理に努めた。

○需用費（修繕料） 4,516 千円

丹後温泉はしうど荘客室エアコン修繕	446千円
丹後温泉はしうど荘ロビー天井エアコン修繕	180千円
宇川温泉よし野ろ過機バルブ修繕	557千円
宇川温泉よし野の里ぶどう棚修繕	401千円
碇高原ステーキハウス店舗窓ガラス修理	126千円
碇高原ステーキハウス空調機修繕	328千円
スイス村水道施設揚水ポンプ修繕	880千円
弥栄あしぎぬ温泉浄化槽マンホール修繕	359千円
弥栄あしぎぬ温泉中央監視盤修繕	599千円
風蘭の館浄化槽機器取替	379千円
風蘭の館エアコン改修	261千円

主な財源

諸収入　市有建物損害共済金 126千円

評価・課題等

指定管理施設において必要な修繕を行い、施設の適切な維持管理に努めた。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	50観光等施設一般経費
細事業名	01 **観光等施設一般経費**		決算書	P.254
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
15,465千円	15,603千円	138千円	99.1 %

目的

観光施設の環境整備を推進する。

主要な事務・事業及び成果の概要

観光等施設（41施設）において、清掃・草刈等を行うなど適切な維持管理に努め、観光客・市民の憩いの場、安らぎの場となる環境づくりを推進した。

○施設管理消耗品･燃料費 185 千円
○光熱水費 1,319 千円
○施設修繕料（丹後温泉泉源ポンプ修繕、ブナハウス給水施設修繕など） 644 千円
○し尿汲取り手数料ほか 387 千円
○火災保険料 131 千円
○施設管理等委託料 7,771 千円

地域名	施設名
峰山地域	羽衣茶屋、泉の爽香苑、薬師ヶ丘さくらの森公園など
大宮地域	平地地蔵公園、ブナハウス内山など
網野地域	子午線塔、静の杜など
丹後地域	経ヶ岬・碇高原水道施設、間人みなと公園、城嶋公園など
弥栄地域	細川ガラシャ夫人の碑周辺など
久美浜地域	東山公園、城山公園、山内施設、ドラゴンカヌー艇庫など

○土地借上料（網野駅観光車両待避所ほか7か所） 458 千円
○工事請負費（丹後網野温泉泉源ポンプ取替工事） 4,568 千円
○原材料費（花用土） 2 千円

主な財源

府委	碇高原畜産展示資料館管理委託料（10/10）	1,038千円
繰入金	観光ｲﾝﾌﾗ整備等促進実行調整費基金繰入金	199千円
諸収入	丹後温泉電力料	406千円

評価・課題等

清掃、修繕等の維持管理を行い、利用者に良好な施設環境を提供できた。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

<table>
<tr><td>予算科目</td><td>07商工費</td><td>01商工費</td><td>04観光振興費</td><td colspan="2">01観光協会等支援事業</td></tr>
<tr><td>細事業名</td><td colspan="3">01 観光協会等支援事業</td><td>決算書</td><td>P.246</td></tr>
<tr><td>総合計画</td><td>基本方針</td><td>Ⅰ 交流経済都市</td><td>計画項目</td><td colspan="2">⑤ 観光の振興</td></tr>
<tr><td colspan="2">決算額 ①</td><td>最終予算額 ②</td><td>不用額 (②−①)</td><td colspan="2">執行率</td></tr>
<tr><td colspan="2">30,122千円</td><td>30,473千円</td><td>351千円</td><td colspan="2">98.8 %</td></tr>
<tr><td>目的</td><td colspan="5">観光について総合的な振興を図り、地域一体となった観光を推進するため、京丹後市観光協会の活動を支援する。</td></tr>
<tr><td>主要な事務・事業及び成果の概要</td><td colspan="5">観光について総合的な振興を図り、地域一体となった観光を推進するため、京丹後市観光協会の活動を支援した。本部及び支部による活動事業、インバウンド等観光宣伝・誘客事業の強化を図った。

○観光協会活動補助金 26,825 千円
【事業費 11,061千円】
広告宣伝事業（ジオツーリズムPR、モニターツアー等） 1,791 千円
ホームページ維持費 304 千円
施設ネットワーク事業（たんご湯遊パスの販売） 1,145 千円
支部活動費 5,535 千円
インバウンド推進事業 1,623 千円
・台湾高雄国際旅展出展 729 千円
・亳州市訪問事業 646 千円
・モデルツアー実施 248 千円
その他（オープンカレッジ、食の魅力発信、海開き等） 663 千円
【人件費 14,045千円】
本部常勤職員5人、臨時職員2人の給与、法定福利費等 14,045 千円
【事務所経費 1,719千円】
事務所賃借料、光熱水費、通信費等 1,719 千円

○広域誘客活動事業補助金 3,297 千円
観光着地型体験パンフレット作成（2万冊） 609 千円
観光ポスター作成、掲出（3種類、計3,450部） 2,688 千円</td></tr>
<tr><td>主な財源</td><td colspan="5">府補 未来づくり交付金（観光協会ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ推進事業） 730千円
府補 未来づくり交付金（広域誘客活動事業補助金） 1,640千円</td></tr>
<tr><td>評価・課題等</td><td colspan="5">○事業計画に基づき、事業が実施された。
○組織が一体となって、更に効率的、効果的に誘客活動を推進していく必要がある。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業所管課</td><td colspan="4">商工観光部／観光振興課</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>予算科目</td><td>07商工費</td><td>01商工費</td><td>04観光振興費</td><td colspan="3">03水難対策事業</td></tr>
<tr><td>細事業名</td><td colspan="4">01 水難対策事業</td><td>決算書</td><td>P.248</td></tr>
<tr><td>総合計画</td><td>基本方針</td><td colspan="2">Ⅰ 交流経済都市</td><td>計画項目</td><td colspan="2">⑤ 観光の振興</td></tr>
</table>

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率
11,552千円	11,564千円	12千円	99.8 %

目的

海水浴場の安全性を高めるため、救急時の連絡体制の整備や救命機器を備える。

主要な事務・事業及び成果の概要

本市観光の柱の一つである夏季海水浴による誘客を促進するため、全海水浴場（16海水浴場、17連絡所）へ連絡員（計72人）を設置するとともに、AED（自動体外式除細動器）を配備するなど、海水浴客が安心して利用できる環境を提供した。

○需用費	連絡所消耗品（医薬品、印刷製本、修繕料）	689 千円
○役務費	連絡所仮設電話料金（16か所）ほか	264 千円
○委託料	海水浴場放送設備設置委託料（４か所）ほか	349 千円
	連絡員業務委託料	
	京丹後市観光協会（丹後町・久美浜町各海水浴場）	6,616 千円
	掛津区（掛津海水浴場）	534 千円
	小浜観光協会（小浜海水浴場）	534 千円
	浅茂川観光協会（浅茂川海水浴場）	534 千円
	浜詰区（浜詰海水浴場）	1,056 千円
	遊区（遊海水浴場）	534 千円
	水難啓発救助委託料（マリンレスキュー網野）	80 千円
○使用料及び賃借料		
	連絡所用コンテナハウス借上料（6棟）	287 千円
○備品購入費		
	トランシーバー2個、双眼鏡2個	75 千円

主な財源

評価・課題等

概ね適切な連絡体制整備が行われ、海水浴客に安全安心な海水浴場を提供できた。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	05観光の魅力づくり推進事業
細事業名	01 **観光の魅力づくり推進事業**		決算書	P.250
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
18,793千円	18,858千円	65千円	99.6 ％

目的

市内の豊富な観光資源を活用した、魅力ある観光地づくりを推進する。

主要な事務・事業及び成果の概要

豊富な観光資源を活用した魅力ある観光地づくりを推進するため、観光インフラ整備等促進実行調整費基金調整会議による調整結果を踏まえながら、同基金を活用して補助金を交付した。

○観光の魅力づくり推進事業補助金　18,637 千円　（単位：千円）

対象事業	事業費	補助金
木津温泉泉源改修事業（2年目/2年事業）	2,351	2,351
浅茂川浦島温泉泉源改修及び揚水設備修繕事業（3年目/3年事業）	702	702
浅茂川浦島温泉揚湯設備修繕事業	4,822	4,822
小天橋案内看板整備事業	399	399
掛津区ダンプクローラー修繕事業	1,482	1,482
夕日ヶ浦温泉泉源改修事業	2,771	2,771
夕日ヶ浦温泉看板張替工事	305	305
浜詰区ダンプクローラー更新事業	1,596	1,596
丹後神野温泉保全（予備ポンプ購入）事業	2,214	2,214
鳴き砂温泉泉源送水ポンプ・モーター修理事業	210	210
鴻の鶴温泉泉源改修事業	1,785	1,785
計	18,637	18,637

○観光インフラ整備等基金調整会議費（委員16人）

報償金　4,000円×延べ35人（5回開催）　140 千円

費用弁償　16 千円

主な財源

繰入金　観光ｲﾝﾌﾗ整備等促進実行調整費基金繰入金　18,637千円

評価・課題等

○温泉の泉源維持管理等観光地づくり推進の事業に対して支援を行った。
○観光の魅力づくりを進めるため、さらに制度の周知等を図る必要がある。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	01海浜等施設管理事業	
細事業名	01 **海浜等施設管理事業**			決算書	P.252
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目 ⑤ 観光の振興		

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率
20,039千円	20,069千円	30千円	99.8 %

目的

海水浴場等の観光関連施設の維持管理を行い、観光客の利便性及び快適性の向上を図るとともに、海岸地域の美化に努める。

主要な事務・事業及び成果の概要

海水浴場等に設置された、便所、休憩所等の観光施設（全41施設）の清掃、施設の修繕等の維持管理を行い、訪れる観光客に清潔・快適な場を提供した。
また、大雨等による海岸漂着ゴミ撤去を行った。

○需用費	消耗品費（ゴミ撤去用1トン土のう袋）	238 千円
	光熱水費	1,784 千円
	修繕料	1,245 千円
○役務費	し尿汲取り手数料	672 千円
	ごみ収集手数料ほか	1,303 千円
	保険料	84 千円
○委託料	浄化槽維持管理委託料（1か所）	624 千円
	海水浴場清掃美化業務委託料 （網野町5か所、丹後町8か所）	2,025 千円
	施設維持管理委託料	757 千円
	海浜環境保全活動委託料（5地区）	2,887 千円
	海岸漂着物回収処理委託料（大雨によるもの）	6,099 千円
	遊海水浴場トイレ改修設計委託料	1,260 千円
○使用料及び賃借料		
	土地借上料ほか	163 千円
	重機借上料（漂着ゴミ撤去用）	804 千円
	仮設トイレ借上	94 千円

主な財源

府補	未来づくり交付金（遊海水浴場ﾄｲﾚ整備事業）	80千円
繰入金	観光ｲﾝﾌﾗ整備等促進実行調整費基金繰入金	136千円
諸収入	市有建物損害共済金	228千円
市債	海水浴場ﾄｲﾚ整備事業債（合併特例債）	1,100千円

評価・課題等

○観光客に清潔で快適な場を提供した。
○波浪等による海岸への漂着ゴミについて迅速な対応を行い、海水浴に快適な環境を提供することができた。
○トイレの維持管理については、さらにきめ細かな対応が必要である。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	02自然公園管理事業

細事業名	01 **自然公園管理事業**	決算書	P.252
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
10,914千円	10,922千円	8千円	99.9 ％

目的

市内の国立公園及び国定公園区域内にある京都府の公園施設等の適正な維持管理を行い、自然公園の環境保全及び利用を促進する。

主要な事務・事業及び成果の概要

山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園にある京都府の公園施設71施設（京都府からの管理委託業務を地元区等に再委託）について適切な維持管理を行った。

○消耗品費、燃料費、光熱水費	1,056 千円
○修繕料（五色浜園地給水施設など）	187 千円
○手数料（し尿汲取り手数料）	1,209 千円
○自然公園等施設管理委託料（15園地）	6,222 千円
○自然公園内ごみ収集委託料（4か所）	1,501 千円
○トイレ清掃・被害木伐倒処理委託料・水道施設管理委託料	600 千円
○借上料（用地借上・重機借上げ）	94 千円
○原材料費	20 千円
○国立公園協会、自然公園保護協会負担金	25 千円

主な財源

府委	国立公園･国定公園管理委託金	8,770千円

評価・課題等

○概ね適切に施設の維持管理が行われ、訪れる観光客に清潔・快適な場を提供した。
○トイレの維持管理については、さらにきめ細かな対応が必要である。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02観光宣伝事業	
細事業名	03 ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ推進事業			決算書	P.246
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興	

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
1,266千円	1,286千円	20千円	98.4％

目的

季節・曜日を限定しない外国からの旅行客誘致を促進し、二季（夏・冬）、週末だけでなく年間を通じての観光入込客の増加を目指す。

主要な事務・事業及び成果の概要

高雄国際旅展は、台湾から本市へのツアー誘致を目的に、京丹後市観光協会と協働してブース出展とPR活動を行った（旅展来場者8万3千人）。ASEANツーリズムフォーラムは、10月に本市で実施されたASEAN観光連盟総会により交流の始まったASEAN諸国の観光代表者等との交流を深め、市内企業の商談や観光客誘致を行った。

○台湾高雄国際旅展参加経費　202千円
（平成23年5月4日～7日　於：台湾高雄市）
・出張旅費（3泊4日、1人）　137千円
・通訳手配委託料　40千円
・消耗品費（土産）　25千円

○台湾高雄市観光協会歓迎レセプション　12千円
（平成23年7月22日　於：リゾーピアク美浜）
・通訳謝金　6千円
・通訳費用弁償　1千円
・消耗品費（歓迎横断幕）　5千円

○中国亳州市訪問・PR事業参加経費　616千円
（平成23年11月10日～13日　於：中国亳州市）
・出張旅費（3泊4日、3人）

○ASEANツーリズムフォーラム参加経費　415千円
（平成24年1月10日～14日　於：インドネシア）
・出張旅費（4泊5日、2人）

○インバウンドに関する研修等参加経費　21千円
・出張旅費　15千円
・有料道路通行料　6千円

主な財源

評価・課題等

○国際旅展に参加し、現地旅行社の協力のもと京丹後市を含むツアーをPRしたことにより、5本のツアーが販売、催行された。
○亳州市、ASEAN各国とはこれまでの交流を生かして、一般市民による観光訪問など、民間による事業へと繋げていく必要がある。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細事業名	05 **ほんもの体験観光のまち推進事業**		決算書	P.248
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
4千円	5千円	1千円	80.0 %

目的	四季型滞在観光を目指し、製造事業者が交流人口の増加を図るために行う見学ルート、体験事業の充実等の環境整備を支援するなど体験観光のまちを推進する。
主要な事務・事業及び成果の概要	○全国ほんもの体験フォーラム参加（12月2日、滋賀県米原市）　4千円 ・有料道路通行料
主な財源	
評価・課題等	観光のまちづくり推進事業補助金については22年度、23年度は申請がなかったため、制度の見直しを検討する必要がある。
事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細事業名	01 **観光業等活性化推進事業補助金**		決算書	P.248
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
1,900千円	1,900千円	0千円	100.0％

目的

民間事業者及び市民団体等が実施する交流人口の拡大に資する事業の開催を支援し、観光のまちづくりを推進する。

主要な事務・事業及び成果の概要

多様な地域資源を活かし、地域経済への波及効果があり、地域文化の振興につながるなど、まちの活性化及び交流人口の拡大に寄与する各種大会を主催する団体に対し、大会関係者が宿泊した延べ人数に応じて定める額の補助金を交付した。

○観光業等活性化推進事業補助金　　1,900 千円　　（単位：人、千円）

大会名	補助申請者	宿泊人数	参加者数	対象事業費	補助金額
網野グリーンカップ少年サッカー大会	同実行委員会	198	300	236	100
フレンドリーフェスタ	京丹後市サッカー協会	126	110	108	100
SUMMERフレンドリー	京丹後市サッカー協会	142	200	118	100
網野カップ少年サッカー大会	同実行委員会	2,542	2,000	4,483	700
八丁浜ユースカップ	京丹後市サッカー協会	107	200	115	100
絆フェスタ	京丹後市サッカー協会	277	200	137	100
メグミルクカップ	京丹後市サッカー協会	236	280	220	100
Kids＆Girls　Cup	京丹後市サッカー協会	153	300	289	100
京丹後ボーイズ親善大会	京丹後ボーイズ	105	348	293	100
浦島カップＩＮ網野少年サッカー大会U-11	網野スポーツクラブ	141	200	202	100
京都府民総合体育大会サッカー競技	京丹後市サッカー協会	198	350	448	100
支部選抜チャレンジカップ in AMINO	網野スポーツクラブ	126	180	178	100
カニの町「丹後町」親善ゲートボール大会	同実行委員会	172	182	861	100
合　計		4,523	4,850	7,688	1,900

※補助基準

宿泊延べ人数	補助金額
100人以上500人未満	100千円以内
500人以上1,000人未満	300千円以内
1,000人以上2,000人未満	500千円以内
2,000人以上	700千円以内

主な財源

府補　　未来づくり交付金（観光業等活性化推進事業補助金）　　900千円

評価・課題等

平成23年度の補助対象となる大会は前年度に比べて5件増加し、支援を行った13大会において延べ4,500人を超える宿泊があり、交流人口の拡大、宿泊・土産物購入などによる地域経済への波及効果があった。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	09森の全国交流拠点管理運営事業
細事業名	01 **森の全国交流拠点管理運営事業**		決算書	P.210
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
329千円	2,492千円	2,163千円	13.2 %

目的

蒲井･旭地域振興計画に基づき制作したツリーハウスの管理運営を行い、蒲井･旭地域を心と体と環境に優しい交流の場所として全国に発信していく。

主要な事務・事業及び成果の概要

ツリーハウスの適切な利用が図られるよう施設の管理運営を行った。

○ツリーハウス管理運営経費

・修繕料（施設利用案内看板）	50千円
・火災保険料	3千円
・ツリーハウス管理委託料	60千円
・ツリーハウス保守点検委託料	210千円
・土地借上料	6千円

○ツリーハウス利用状況　（単位：人）

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
利用者数	190	1,524	925	479

※平成20年度は、12月からの3月までの4か月間の利用人数
※平成23年度は、4月からの10月までの7か月間の利用人数

参考		
参考	繰越明許費等を除いた最終予算額	330 千円
	実質的な執行率	99.6 %

■平成24年度への繰越事業

ツリーハウス遊歩道仮設通路設置工事　2,162千円
（設計監理委託料、工事請負費）　平成24年4月完成

主な財源

評価・課題等

○大雨による遊歩道の路肩崩壊により、平成23年11月以降に利用休止を行ったため、利用者数が昨年度に比べ大きく減少する結果となった。
○利用者数は減少傾向にあるものの、市民だけでなく、京阪神地域を中心とした市外からの利用者もあり、心と体と環境に優しい交流場所として蒲井・旭地域を発信することができた。
○今後はより積極的なPRを行うなど、ツリーハウス利用者の拡大に向けた利用促進策を展開していく必要がある。

事業所管課	企画総務部／企画政策課

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02観光宣伝事業
細事業名	01 **観光宣伝活動事業**		決算書	P.246
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率
9,337千円	9,364千円	27千円	99.7 %

目的

各種広報媒体の活用、イベントの開催、広域団体との連携などを通して、自然、温泉、歴史遺産など豊富な観光資源をPRし、観光客誘致を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

○ 観光宣伝活動等事務事業費（旅費、有料道路通行料等）　278 千円
京都観光宣伝販売促進会議（9/7～10　東京都）
丹波篠山味まつり出展（10/8～10　篠山市）
北近畿広域観光連盟キャラバン（11/10～11　大阪市）
おのみちフィルムコミッション視察（12/5　尾道市）
NHK大河ドラマ誘致推進協議会会議（5回　亀岡市）

○ 啓発物品購入　150 千円
丹後ちりめんティッシュ入れ（195円×770個）

○ ラジオでの広告掲載費　630 千円
FM京都広告（6回）

○ 観光団体負担金　8,279 千円

京都府観光連盟	390 千円
北近畿広域観光連盟	1,307 千円
丹後広域観光キャンペーン協議会	6,382 千円
NHK大河ドラマ誘致推進協議会	200 千円

（参加市町）
京丹後市、長岡京市、亀岡市、福知山市、舞鶴市、宮津市、大山崎町

主な財源

評価・課題等

○誘客に向け広域団体とともに宣伝・PR活動を行った。
○今後、広域的な枠組みでの活動と役割分担を行いながら、より効果的な取り組みを推進する必要がある。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02観光宣伝事業
細事業名	02 **観光ｻｲﾝ整備管理事業**		決算書	P.246
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率
1,271千円	7,043千円	5,772千円	18.0 %

目的

市のイメージ及び自然景観に配慮し、統一したデザインによる観光サインを整備することにより、観光客の利便性の向上及び市のイメージアップを図り、観光客の誘致を促進する。

主要な事務・事業及び成果の概要

既存観光サイン（案内看板等）の適切な維持管理を行うとともに、「観光サインのあり方検討委員会」を開催し、第2次観光サイン整備計画を策定した。

○「観光サインのあり方検討委員」経費　61千円
　委員謝金　4千円×2人×2回
　費用弁償　2人×2回

○観光サイン電気料　35千円
　・歓迎サイン　2基（久美浜町河梨地内、与謝野町上山田地内）
　・電光掲示サイン　2基（大宮町谷内地内、峰山町新町地内）

○電光掲示板通信料　89千円
　・電光掲示サイン　2基（大宮町谷内地内、峰山町新町地内）
　・データ送信用パソコン　1台（観光振興課内）

○委託料　472千円
　・新設観光サイン設計業務　10基分（歓迎1基、誘導6基、案内3基）
　・電光掲示サイン調査業務　2基（大宮町谷内地内、峰山町新町地内）
　・観光サイン張替え業務　6基（経ヶ岬駐車場、てんきてんき村）

○観光サイン設置土地賃借料　454千円
　・41か所（京丹後市内：38か所、与謝野町内：1か所、福知山市内：2か所）

○観光サイン更新工事　160千円
　・1か所（丹後あじわいの郷駐車場）

参考		
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	1,373千円
	実質的な予算執行率	92.5%

■平成24年度への繰越事業　5,670千円
　新設観光サイン（歓迎1基、誘導6基、案内3基）設置業務　平成24年4月完成

主な財源

繰入金　観光ｲﾝﾌﾗ整備等促進実行調整基金繰入金　436千円

評価・課題等

○観光サインの適切な維持管理を行い、観光客の利便性及び本市のイメージアップを図ることができた。
○策定した第2次観光サイン整備計画を基に、利便性のより一層の向上と観光地のPRを図る必要がある。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	03丹後半島駅伝大会開催事業
細事業名	01 **丹後半島駅伝大会開催事業**		決算書	P.92
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率
622千円	641千円	19千円	97.0％

目的

京都府内市町村等職員の健康増進、元気回復と相互の連携を培うとともに、府民スポーツの発展と地域振興に寄与することを目的に実施する。

主要な事務・事業及び成果の概要

本大会は、京都府市町村職員厚生会に加入する府内市町村職員による駅伝大会で、丹後町域6区間（18.5ｋｍ）に一般の部、女子の部のほか、地元中学生による特別参加の部の計58チームが参加し、選手・役員合わせて561人が京丹後市内に宿泊した。（平成23年11月27日開催）

○報償費		544 千円
報償金（競技役員協力謝金）	182 千円	
報償物品（参加賞品等）	362 千円	
○需用費		38 千円
消耗品費（豚汁容器代他）	18 千円	
燃料費（ガス代）	2 千円	
医薬材料費	18 千円	
○使用料及び賃借料		40 千円
土地家屋借上料（スタート地点・各中継所）	40 千円	

主な財源

諸収入　丹後半島駅伝大会協力金　403千円

評価・課題等

○前回の参加チーム数より4チームも増え選手等の宿泊による経済効果及び地域振興に一定の成果があり、冬の丹後をPRすることができた。
○本事業は、観光振興と地域の活性化を図る上での一つの有効な手段であることから、実施主体の厚生会と行政、市民、観光産業とが協働事業主として創意工夫を凝らし、事業を大きく発展させていく必要がある。

事業所管課	市民部／丹後市民局

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細事業名	07 **教育旅行等誘致促進事業**		決算書	P.248
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率
114千円	130千円	16千円	87.6 ％

目的

市内体育施設等を活用した学生合宿及び宿泊体験事業等の教育旅行の誘致を促進し、観光入込客及び宿泊客の増加を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

○合宿、教育旅行誘致活動（学校、旅行社訪問等）

京阪神地域の大学からのスポーツ合宿の誘致をはじめ、教育旅行の誘致を行うために学校等を訪問するなど、情報の発信とPR強化を行った。

- ・職員旅費　38千円
- ・高速道路、駐車場使用料　47千円

※訪問実績：41大学、2企業

○合宿、教育旅行誘致セミナー参加費用

合宿、教育旅行誘致にかかるノウハウ取得のため、社団法人京都府観光連盟主催のセミナー（全6回）に参加した。

- ・参加旅費　26千円
- ・参加負担金　3千円

主な財源

評価・課題等

○平成22年度に作成した市内の文化体育施設及び宿泊施設の情報を取りまとめたパンフレットをもとに、京阪神地域の大学等へ訪問、誘致活動を行った。
○合宿での体育施設等の利用について、受付窓口の一元化による利用者への利便性確保、また市内における合宿への補助等の支援策について検討が必要である。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	07地域活性化支援事業
細事業名	01 **地域活性化支援事業**		決算書	P.250
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②−①)	執行率
9,422千円	9,427千円	5千円	99.9 %

目的

地域活性化及び観光振興に寄与するイベントを支援し、観光客の誘致を促進した。

主要な事務・事業及び成果の概要

地域活性化及び観光振興を目的に開催されたイベントに対し補助金を交付した。

〇各種イベント補助金

イベント名称		開催日	来場者数	事業費	補助金額
フェスタ「飛天」in京丹後		8月7日	11,000人	6,106千円	3,550千円
いかり高原まつり		悪天候により中止	−	621千円	562千円
京丹後市ドラゴンカヌー大会		8月7日	111ｸﾙｰ	3,219千円	1,800千円
水無月祭花火大会		7月30日	13,000人	2,992千円	70千円
宇川観光祭	宇川アユまつり	8月15日	300人	399千円	160千円
	中浜祭り	7月26日	500人	499千円	160千円
	穴文殊祭典	8月24日	500人	978千円	200千円
間人みなと祭		7月25日	10,000人	3,711千円	720千円
やさか納涼祭		7月16日	6,100人	3,441千円	2,200千円

※ドラゴンカヌー大会は参加クルー数で記載（1クルー：12人）

主な財源

府補　未来づくり交付金（地域活性化事業補助金）　2,850千円

評価・課題等

支援を行った事業については、地域活性化及び観光振興に寄与すると認められる内容であり、今後も継続的な支援が必要である。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業		決算書	P.254
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
101,632千円	101,635千円	3千円	99.9％

目的

指定管理者へ管理運営を委託し適切な維持管理と利用促進を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

観光関連施設の一部について、指定管理者へ管理運営を委託し適切な維持管理と利用促進を図った。利用者数は,台風災害による丹後縦貫林道の閉鎖などでやや減少の結果となった。

○指定管理料（85,988千円）、利用状況一覧

施設名	指定管理料（千円）	利用状況（人）		
		23年度	22年度	前年比
天女の里	9,131	16,731	15,899	105.2%
小町公園	3,406	4,685	5,490	85.3%
網野山村体験交流センター	2,500	971	236	411.4%
浅茂川温泉静の里	19,000	155,617	149,667	104.0%
道の駅てんきてんき丹後	0	117,344	114,654	102.3%
丹後温泉はしうど荘	0	47,849	46,594	102.7%
碇高原ステーキハウス	0	7,531	11,226	67.1%
宇川温泉よし野の里	0	108,095	119,656	90.3%
高嶋園地	0	5,230	9,733	53.7%
森林公園スイス村	36,497	12,249	17,268	70.9%
弥栄あしぎぬ温泉	6,020	117,760	114,960	102.4%
風蘭の館	700	3,006	6,246	48.1%
奥山自然たいけん公園	614	2,997	2,849	105.2%
久美浜豪商稲葉本家	5,965	19,696	16,853	116.9%
かぶと山公園	1,540	3,775	3,390	111.4%
丹後自然体験学習関連施設	615	144	139	103.6%
計	85,988	623,680	634,860	98.2%

○その他（15,644千円）

保険料（火災・自動車損害）	1,582	水質検査委託料ほか	1,732
施設用地等土地借上料	1,508	その他事務費等	312
光熱水費（あしぎぬ温泉電気代）	10,510	計	15,644

主な財源

諸収入	圧雪業務委託金	312千円
諸収入	水質検査料一部負担金	86千円
諸収入	弥栄あしぎぬ温泉電気代等負担金	10,665千円

評価・課題等

指定管理施設については、概ね順調に管理運営が行われている。

事業所管課	商工観光部／観光振興課

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細事業名	02 丹後ｳﾙﾄﾗﾏﾗｿﾝ開催事業		決算書	P.248
総合計画	基本方針 Ⅰ 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
4,999千円	5,000千円	1千円	99.9 ％

目的

観光閑散期における宿泊、飲食、交通等さまざまな経済効果と全国へのPR効果から今後の観光誘客にもつながる本大会の開催を支援し、四季型滞在観光の推進を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

四季型滞在観光を目指した観光客誘致の取り組みであり、大会の開催を通じて本市の魅力を全国に発信する「歴史街道丹後100kmウルトラマラソン」へ支援を行った。
平成23年9月18日、42の都道府県から参集した2,017人のランナーと、1,000人を超える地元ボランティア、スタッフが一体となり、多くの交流が生まれ、また、魅力ある初秋の京丹後市を全国にPRできた。
日本陸連の公認コースとして認定を受けたが、災害によりコース変更を余儀なくされ、臨時コースで開催した。

○委託料	市マイクロバス運転委託料	152千円
○使用料及び賃借料	有料道路通行料	5千円
○補助金	丹後ウルトラマラソン補助金	4,842千円

※総事業費　36,136千円

大会参加者等推移

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
大会エントリー数	1,328人	1,691人	1,963人	2,190人
出走者数	1,231人	1,581人	1,825人	2,017人
宿泊人数（推計）	2,116人	2,507人	2,989人	3,527人

※宿泊人数については延べ人数

主な財源

府補　未来づくり交付金（丹後ｳﾙﾄﾗﾏﾗｿﾝ補助金）　2,400千円

評価・課題等

○エントリー数は着実に増加しており、ウルトラマラソンに対するニーズの高まりと、本大会への認知の定着がみられる。
○財団法人日本陸上競技連盟の公認コースとなったことにより、更に魅力ある大会としてエントリー数の増加を目指し、本市のPRと四季型滞在観光の推進に努める必要がある。

事業所管課	商工観光部／観光振興課